第5回定例会　企業塾　開催！

開催日時：10月12日（水）　18:30～講演会　　20:00～懇親会
開催場所：熊本市国際交流会館5階　大広間
講　　師　：医療法人社団寿量会　理事長
熊本機能病院　総院長　　米満　弘之先生
「熊本機能病院の今日までの歩み」

第5回目となる熊本いいくに会定例会企業塾。今回は、7月に熊本いいくに会主催で開催された「いいくに市民文化祭」の会場にもなった、熊本機能病院の総院長、米満弘之先生に、講演して頂きました。今回は、10月末に控えた第2回熊本暮らし人祭り「みずあかり」の前哨戦ともなり、多くの社員の方、青年会、学生会のみなさんが参加しました。

米満先生はなんと、豊臣秀吉と400年違いの1月1日生まれ！幼少時代はずっと天草で過ごされ、元々体は強くなかったそうですが、入院はせずに自分の家庭で育ったそうです。
大学に入学されてすぐ、父親の病気をきっかけに家族の中に病人がいることで、全員で支え治していくことの大切さに気づいたそうです。
その父親は、「息子のために自分の体を解剖してくれ」と残し、亡くなられたそうです。先生は解剖に立ち会われ、その時の事を、「体を張って肺がん恐ろしさを伝えてくれたのだ」と話されました。

先生が転機を迎えたのは生涯で2度あるそうです。1度目は、水俣病の患者さんと出会ったとき。サリドマイド事件で被害を被ってしまった母親の
「死ねればいいんですが、死ぬことよりも苦しいことがある」
という言葉に強く心を打たれ、この親子のために義手の研究に携わるようになったそうです。
「五体不満足の方はすべてに対して一生懸命生きている。それなのに五体満足である多くの人々は不満ばかりだ。自分はこのままではいけない」
と、障害を持った方々と接することで学ばれたそうです。

　そして2度目は足を切断した患者さんとの出会い。その時は、外科医であるにも関わらず、血管・神経をつなげる技術を学びに奈良へ！
　熊本にもどり切断された腕を見事つなげることに成功し、その後も多くの患者さんを救うことになりました。患者さんの切断された部分に血が通い始める瞬間の喜びは今でも忘れられ　ないそうです。

～～以下、米満先生の言葉～～

ｌ 一人ではなにもできない。自分で決めることはできるが、自分だけで歩くことは出来ない。多くの人々の協力と共感によって支えられ歩んでいけることに気づいて欲しい。
社会がどんな社会になるのか、何が必要とされ、どうなっていかなければならないのかを考え、その後どう動かなければいけないのかを考える"逆行思想"で自分の夢を実現しよう

こうして、自分の信念のもと広く活躍されてきました。今ある熊本機能病院ができたのは、「私の周りの人々の温かい支えがあったから」と、先生は周りの方々への感謝の心で溢れているとても穏やかな方でした。講演の最後に真剣に話をきいていた会場の人々への熱い想いを語ってくだいました。

～第2部　懇親会～

今回も、ヒライさんにオードブルをお願いし、懇親会を開催しました。乾杯は九州ルーテル学院大学　富田事務局長！
「いいくに会は年齢を問わず、米満先生のような方も集まってくる素晴らしいものです。」とこれからの発展を願いながら乾杯をしていただきました！

続いて、東光石油㈱石原靖也副社長より、熊本いいくに会と、第2回熊本暮らし人祭「みずあかり」のお話しをしていただきました。
「いいくに会には"作りたい社会"があり、その想いがあったからこの会は発足しました。この街をもっと盛り上げる一つとして"みずあかり"という祭があります。全ての人が平等で、市民の手で作り上げる祭です。
去年とは一味も二味も違ったものになります。必ず感動できます！」と、熱く語っていただきました。

そしてその「みずあかり」では、運営の大半を担うことになる、熊本いいくに会の青年会・学生会のメンバーの紹介と、各個人、みずあかりに向けての抱負を、みなさんの前で発表しました！
また、熊本いいくに会第1回「いいくにの日」に向けて、社員会より、いいくにの日の紹介を行いました！

米満先生の貴重なお話、それから今後の熊本いいくに会について、また熊本という社会について考える、とてもいい機会になりました。これから「みずあかり」に向けて、各会が動き出すことと思いますが、みなさん、ご協力よろしくお願いいたします！

第6回　企業塾は、11月22日（火）18:30～　熊本市国際交流会館5階大広間にて
講師は、㈱喜田寛総合研究所　喜田寛先生と、特別ゲスト　K1副社長の板越ジョージ氏による講演と懇親会です！みなさん、ぜひお越しください♪